

## 豊岡市記者配布資料

年月日	部課名	電話	責任者 (役職名)
2024年 6月7日(金)	くらし創造部 多様性推進・ジェンダー ギャップ対策課	0796-21-9004 (内線 2741)	木内純子 (課長)

(件名)

豊岡市の外国人住民のリアルが本になりました

(内容)

図書出版昭和堂から「1%の隣人たち 豊岡発！外国人住民と共に生きる地域社会」が6月10日に出版されます。

### 1 内容

本市における外国人住民の多様な生活実態や経験を調査し、多文化共生施策に生かすため、2019年度から2021年度まで、本市と神戸大学との共同事業として「外国人住民に関する調査研究」を行いました。

この調査研究に関わっていただいた、神戸大学大学院人文学研究科の佐々木祐(ささきたすく)さん、平井晶子(ひらいしょうこ)さんたちの大規模アンケートと詳細な聞き取り調査・分析により、本市に住む外国人住民の仕事・生活・子育てなどの実態が描き出されています。

### 2 その他

詳細は、添付の資料を確認してください。

《問合せ》くらし創造部多様性推進・ジェンダーギャップ対策課  
(担当 原田、木内)  
Tel 21-9004(内線 2096)

●新刊●全国の書店、豊岡市内の書店で好評発売中●

# 1%の隣人たち

豊岡発！外国人住民と共に生きる地域社会

佐々木祐・平井晶子 編

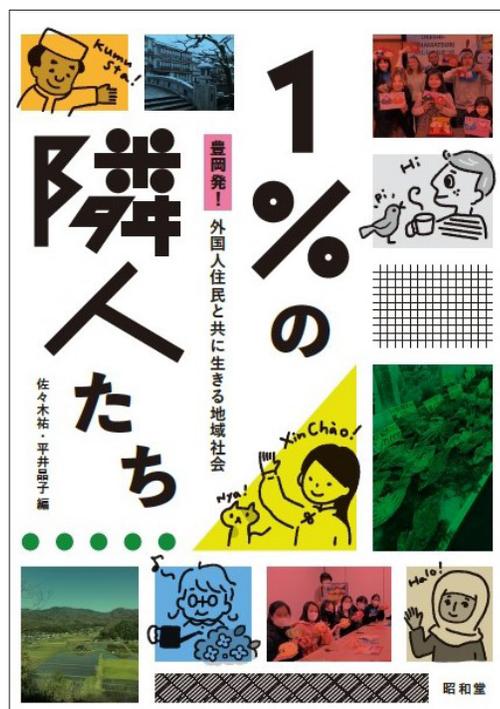
(神戸大学大学院人文学研究科准教授) (神戸大学大学院人文学研究科教授)

「小さな世界都市」兵庫県豊岡市は多文化共生政策もユニーク  
しかし外国人住民が特に多いわけではなく  
その人口比は日本の中央値とほぼ同じ  
そんなありふれた地方的世界に生きる彼／彼女らが直面する課題を  
大規模アンケートと詳細な聞き取り調査で分析  
仕事、生活、結婚、妊娠・出産、子育て、子どもの成長……の実態は？  
彼らのリアルを描き出す

A5判・230頁 定価 2860円 ISBN978-4-8122-2313-0

[目次]

- 序 「1%の隣人たち」というリアル
- 第Ⅰ部 働くこと、雇うこと——就労の現場から
- 第1章 「外国人を雇う」ということ——事業所からみた隣人たち
- 第2章 「ニッポンで働く」ということ——技能実習生の夢と現実
- 第3章 「ニッポンに住む」ということ——就労から長期滞在、定住へ  
インタビュー1 宿泊業での外国人受入の経験——「湯のまち城崎」
- 第Ⅱ部 暮らしとネットワーク——家族・友人・NPO・行政、過去と未来
- 第4章 豊岡に来た背景と将来像
- 第5章 技能実習生らの日常生活
- 第6章 国際結婚妻たちの就業と二つの家族  
インタビュー2 「小さな世界都市」の多文化共生施策——豊岡市
- 第Ⅲ部 子どもの育ち——住民の声、現場の声
- 第7章 妊娠・出産と乳幼児期——子育て支援の現場から
- 第8章 学齢期の子どもたち——学校からのまなざし、家庭からのまなざし  
インタビュー3 支援活動の広がりとしんどさ——「にほんご豊岡あいうえお」



図書出版 昭和堂